

- 村民体育祭から……………2～3
- 成人式から……………4
- せりりゆう北緯41° ……5
- 県民体育大会／各課から……………6
- 談話室／行事予定……………7
- けっぱる蓬田人／戸籍の窓口……………8



花も子も ヤマセに負けないで!

草の花ひたすら咲いて

みせにけり

万太郎

正に、冷夏だった。
この夏、玉松海水浴場は何日泳げたのか。ヤマセ、ヤマセでうんざりした。おかげで、田んぼの稲は行儀よく気をつけをしたままである。

ヤマセだと、農業ばかりでなく漁業も影響を受ける。

ヤマセの時、海の中はどうなっているのだろう。やはり、先月のソビエトみたいに激しく揺れ動いているのだろうか。

それとも、水面下はいつも平穏なのか。漁師は、ホタテ貝の元気が心配になる。

やはり、夏は暑いほうが良い。それでなくてもみちのくの夏は短いのだ。こんな年が何年か続いたら、村人は飢え死にしてみよう。

蛙の脇では、萩の花が咲いている。寝つけない秋の夜長が続きそうだ。

9月

1991

●第33回村民体育祭

中沢チームが初の総合優勝！

第2位瀬辺地チーム、第3位郷沢チーム



入場行進は宮本チームが四年連続V

第三十三回村民体育祭が村総合運動場を会場に、七月二十八日(日)約千人の村民が参加して行われました。大会は、前日まで降り続いた雨も上がり体育祭日和となりました。競技は、消防団リレーなど各競技に高得点を重ねた中沢チームが、見事初優勝に輝きました。

体育祭は、午前九時より本昭巳助役の開会宣言とともに、小猿粕雄さんの打上げた号砲(花火)で始まった。祭りは、入場行進から始まり、行進には交通安全協会賞が昭和六十一年から出されており、各チームそれぞれ工夫が凝らされた入場行進で、お揃いの半てんを着た子供達が「玉の松」と「わんぱく味噌」のお御輿を担いで入場した宮本チームが見事四年連続の賞を獲得しました。

開会式では、八戸良次郎大会長あいさつ、来賓を代表して清水信造村議会議長より祝辞をいただいた後、八戸太郎(阿弥陀川)君が、半円旗に団旗が集まる中で元氣一杯の選手宣誓をしました。

今年から国旗掲揚台には、村での交通死亡事故0を願う、ゼロ旗の掲揚も行われた。競技は、ラジオ体操終了後早々に開始され、選手は杯がかかった競技にはだいぶ熱が入ったようです。

ひと時の真夏日に行われた体育祭。選手にはとてもいいコンディションの中、一人のケガ人もなく午後四時には、中沢チームの総合優勝で大会の幕を閉じました。

◆今年の主な成績

<p>▼総合の部</p> <p>一位 中 沢(73・5点)</p> <p>二位 瀬辺地(62・5点)</p> <p>三位 郷 沢(62点)</p>	<p>▼入場行進の部</p> <p>一位 宮 本</p> <p>二位 蓬 田</p> <p>三位 中 沢</p> <p>” 阿弥陀川</p>	<p>▼砲丸投げの部(男子)</p> <p>一位 坂本 豊昭(長科)</p> <p>二位 佐井 寛(高根)</p> <p>三位 福井 英一(郷沢)</p>	<p>▼砲丸投げの部(女子)</p> <p>一位 久慈 優子(広瀬)</p> <p>二位 大宮美保子(郷沢)</p> <p>三位 稲葉ひとみ(高根)</p>	<p>▼走り幅跳びの部(男子)</p> <p>一位 坂本 大喜(長科)</p> <p>二位 稲葉 豊(高根)</p> <p>三位 吉田 智範(中沢)</p>	<p>▼走り幅跳びの部(女子)</p> <p>一位 高田 恵美(郷沢)</p> <p>二位 久慈 文子(広瀬)</p> <p>三位 稲葉 聡子(高根)</p>	<p>▼少年八百〇〇徒競走(女子)</p> <p>一位 小鹿奈々恵(長科)</p> <p>二位 武井美紀子(蓬田)</p> <p>三位 越田寿弥江(瀬辺地)</p>
---	--	---	--	--	---	--



カメラルホ



三位 長科
二位 瀬地
一位 高根

▼部落対抗リレー

三位 郷沢
二位 蓬田
一位 高根

▼部落対抗綱引き

三位 長科
二位 瀬地
一位 中沢

▼少年綱引き

三位 阿弥陀川
二位 高根
一位 瀬地

▼高齢者玉入れ

三位 野藤健純(阿弥陀川)
二位 中村 大八(蓬田)
一位 佐井 皇(宮本)

▼中学生以上三千リ徒競走(男子)

三位 野藤健純(阿弥陀川)
二位 中村 大八(蓬田)
一位 佐井 皇(宮本)

▼中学生以上千五百リ徒競走(女子)

三位 工藤 祐輝(長科)
二位 細谷 大輔(蓬田)
一位 藤本 禎(長科)

▼少年千リ徒競走(男子)

三位 工藤 祐輝(長科)
二位 細谷 大輔(蓬田)
一位 藤本 禎(長科)

●誓いは

一人はみんなのために、みんなは一人のために!

Be Ambitious!成人式



四十二名が胸に新たな誓い

おとなになったことを自覚し、自ら強くたくましく生き抜くこととする新成人をお祝い励ますとともに、郷土蓬田村の構成員として相協力し、明るい豊かな住みよい村づくりに努力する村民としての出発日としてあらうと、八月十四日(水)村中央公民館において、新成人(四十二名出席)、来賓及び関係者の参加を得て、平成三年度の成人式が挙行されました。

式は午前十時から始まり、奈良尹教育長から「成人を迎えた皆さんは、三十才を目安に安住の地を目指してほしい。そこはどこであるか予測できないでしょうが、国際化の中の日本を考えると、それがアメリカであったり、東南アジアということも当然あり得ますが、どこにあっても玉松精神を忘れずに頑張してほしい」と式辞があり、続いて、八戸良次郎村長より「若い時代に充分勉強もして、努力する必要があるあります。今日の感激を忘れることなく、責任と義務も充分かみしめて欲しい」と、清水信造村議会議長より「これからは、大人として権利が行使できますが、またその反面、義務と責任を負う大人の世界に入らなければなりません。そのためには教養を身につけて、身体を鍛練し、心身ともに立派な社会人として成長してほしい」と祝辞がありました。

新成人代表の津島重樹(蓬田)さんは、「テレビでラグビーの選手が言っていた言葉ですが、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」とこの言葉を初めて聞いた時には、背筋がゾクゾクしました。私達は一人一人、自分の道を

進んでいく訳ですが、どんな立派な人でも、どんなに出世した人であっても、自分一人では生きていけません。常に自分のために動いてくれている人がいる事を忘れず、自らも、協力する事を惜しまない、そんな大人に私はなりたい」と新成人誓いのことばを発表しました。

この後、八戸村長から、男性には、村の玉松がデザインされたネクタイピン、女性にはネックレスがそれぞれプレゼントされました。

また、村選挙管理委員会坂本孝男委員長より「選挙啓発」用のオリジナルテレホンカードがプレゼントされました。引き続き、中川孝治(郷沢)さんが、「自分の選んだ目標



を達するためにどんな困難でも真正面から挑み、そして自らの手で勝ち取るということが自分の人生を決めていくのだと思います」と提言し、村民の誓いを、稲葉麗美（広瀬）さんと新成人が全員で斉唱しました。



記念講演は、八戸工業大学講師の植村直義先生が「新成人に望むもの」と題した熱っぽい講演をしていただきました。

式の最後は、澤田教育委員会委員長の音頭で、ジュースで乾杯しました。

また、アトラクションで、玉松太鼓愛好会の有志三名による玉松太鼓が披露され、新

成人のほとんどが初めて聞くとおって会場からは大きな拍手を受けました。

式典終了後には、新成人と来賓と一緒に記念撮影をしてみたい成人式を閉じました。



交通安全

お願いね！

村交通安全協会母の会が
マスコット配布を実施

ドライバーに安全運転を呼びかけようと、七月二十二日（月）村交通安全協会母の会（会長山館洋子）が、村玉松公民館前の国道で手作りマスコットの配布をしました。

今回のマスコットは、瀬辺地区の母親が交通事故ゼロを願って作りあげた百個で、この日は村交通指導隊と蟹田警察署員の協力を得て、各地区の交通安全協会母の会の会員十一人が道行くドライバーに手渡し、安全運転を呼び掛けました。



54回の献血功労で 金色有功章！

日本赤十字社から
記念の盾が贈呈
青木實氏（阿弥陀川）



七月二十五日（木）下北文化会館（むつ市）において、県献血推進大会が行われその席上で、青木實（阿弥陀川）さんが、日本赤十字社（社長山本正淑）より、「あなたは五十四回に及ぶ献血をいただき日本赤十字社事業の進展に多大の貢献をされました。その御功労に対し感謝の意を表し金色有功章を贈ります」という記念の盾をいただきました。

おめでとございました。

9月の土曜閉庁日は
14日と28日です。

ただし中央公民館、幼稚園、保育所、児童館はこれまで通りです。

41

・しわくちやの父を背にして 涙ぐむ工藤久
・父の日に 待ってる父に 土産なし 森勝
・披露宴 半年あとに 父になり 栄博
・先見る目 親になるのには ほど遠く 高政

・兄弟で 父へ感謝の プレゼント 節子
・父の日に 父は保育所で 父絵書き 増吉
・父と子と 意見が違ふ 今日を生きて 昭夫
・言葉より 心つたわる 父の顔 重彦

今年の夏は冷たいヤマセの影響で農作物が心配されています。少しでも多くの稔りがあることを期待します。

陸上女子の部で総合二位!!

卓球競技は三位を獲得!

市町村対抗県民体育大会

八月十、十一日の二日間、県民のスポーツの祭典、第四十六回市町村対抗県民体育大会が、むつ市を主会場に行われました。

わが村でも陸上(男女)・ゲートボール・卓球・ボウリング競技の四種目に出場して、陸上競技では女子が総合二位を獲得、卓球の部では三位を

獲得するなど各種目とも上位に入賞する健闘を見せました。特に、森三奈子(阿弥陀川)さんは、砲丸投げで一位、百斤徒競走三位というすばらしい成績でした。

また、小松美由紀(蓬田)さんも二百斤徒競走で見事二位入賞を果たしました。

男子では久慈修一(広瀬)さんが砲丸投げで見事三位入賞を果たしました。

成績は次のとおりです。

- 団体
- 陸上競技の部(女子) 総合二位
- 卓球競技の部 三位
- 個人

◆ 女子砲丸投げ ① 森三奈子(阿弥陀川) ◆ 女子二百斤徒競走 ② 小松美由紀(蓬田) ◆ 百斤徒競走 ③ 森三奈子(阿弥陀川) ◆ 男子砲丸投げ ③ 久慈修一(広瀬)

おめでとございます。



あっせん基準面積の改定について!

平成3年9月1日より下記の通りあっせん基準面積が改定になります。

● 基準面積

地域名	営農形態	基準面積
蓬田村	水 稲	240 a (前回 200 a)

● 目標経営面積

地域名	営農形態	基準面積
蓬田村	水 稲	400 a

ペンキ塗り挑戦!

七月七日の七夕の日、阿弥陀川子ども会と同育成会が公園の整備をしました。

阿弥陀川公園は小学校通り海手の建設省敷地にあり、六つの遊具が設置されている。海岸に近いためすべり台などの遊具は腐食が激しく、溶接がはなれかけてきている。早朝から始められた作業では、周りの草取り、遊具のサビ落とし、サビ止め剤を塗った上にペンキを塗り仕上げた。子ども達十人もブランコやドームジャングルなどに赤・青・黄・緑色の思い思いのペンキを塗り、遊具はカラフルに



再現された。昼食休憩では全員で焼き肉を楽しみ一日を有意義に過ごしました。しかし、洋服や髪の毛にペンキを付けて帰られた子どものお母さん方は驚かれたと思います。今後は注意して事業を実施します。

(育成会々長 吉田)

「玉の松」(酒) (みそ) 名付け親表彰される!

村農業確立対策協議会

村農業確立対策協議会(会長 八戸良次郎)が米消費純増策の一つとして「純米酒」と「味噌」を造るために、酒と味噌の名前を募集したところ百九十七件の応募がありました。

八月二十二日(木)午前八時四十五分から、役場二階会議室において、選考委員会で決定された「酒」・「みそ」の名前の名付け親や入賞した方への表彰式が行われ、入賞した方へはそれぞれ、賞状と副賞として、蓬田農協の商品券と玉の松が贈呈されました。

おめでとございます。





No.43 **がんばる**
木戸 琴美さん 瀬辺地

「今一番の目標は、年に一度開催される青森県手踊り名人決定戦にて優勝すること」と話す木戸琴美さんは、玉松太鼓演奏者として、地域の青年リーダーとして、若さと笑顔で今日も頑張る。

青年会活動にも積極的に参加しており、女子活動として着物の着付・料理教室等の今一番自分達が必要としていることを皆で勉強しています。先日、蟹田町で行われたイカゲ下りのアイデア部門に女子青年の仲間と共に仮装出場し、大会初まって以来の審査員特別賞をいただくほど、モチベーションを発揮する活躍でした。

将来は手踊りのお師匠さんに
今回は、幼稚園の頃より十六年間も続けているという津軽民謡手踊りと、玉松太鼓の演奏者として、また青年会活動にと頑張っている木戸琴美さん（瀬辺地）さんに取材しました。木戸さんが手踊りを始めるきっかけは、祖母タヨさんの勧めでした。毎年三回〜四回、色々な大会に出場して、舞台度胸と踊



談話室

りへの自信を身につけて来ました。平成元年に弘前市で行われた新春第七回県下新人手踊り大会に出場して見事個人優勝を飾るなど着々と指導者としての道を歩んで来ました。また、村制施行百周年にて発表された玉松太鼓の演奏を聞いて見て感激。「是非、私も一度挑戦してみたい」と参加しました。仕事の都合で遅くなっても必ず練習には出るようにした甲斐もあって、今ではどうにか人前で演奏出来るようになりました」と話してくれました。



8月20日（火）蓬田小学校の先生方とPTA役員が、小学校通りの昭和町踏切北側と、阿弥陀川団体営農道の小学校通り交差点左右に児童を交通事故から守るための看板を設置しました。この看板は、「おはよう」「ホラ！右左だよ！」と可愛らしいイラスト入りです。この看板の経費は、村交通安全対策協議会よりいただきました。ドライバーの皆さん、小学校通りを走る時には安全運転をお願いします。

● 9月行事予定											日				
27	22	21	20	20	19	19-18	18	15	14	13	13	7	6	4	
炊飯遠足	津軽半島駅伝大会(三厩〜蓬田)	映画上映 18:30 18:30 (中央公民館)	映画上映 20:30 20:30 (広瀬公民館)	参観日	敬老会	郡中体連秋季大会	映画上映 18:30 20:30 (中沢公民館)	子ども会国際交流会	映画上映 18:30 20:30 (玉松公民館)	映画上映 18:30 20:30 (高根公民館)	母親教室 (中央公民館)	交通安全教室	炊事遠足	秋の大清除検査(中沢〜高根)	行事
蓬田小学校	村体育協会	蓬小PTA文化部	蓬小PTA文化部	蓬田小学校	民生課	蓬田中学校	蓬小PTA文化部	村子ども会	蓬小PTA文化部	蓬小PTA文化部	民生課	蓬田小学校	蓬田中学校	民生課	担当

けつばる蓬田人 ⑧

イタリア在住

イタリア在住

日伊興産イタリア会社(株)そごう&アサヒインターナショナル

マネージャー 森

幸次さん



う、昼は専門学校で国際観光理論・ホテルサービス論を学びながら、夜はホテル研修を毎日送る日々を過ごした二年間を送った後、ここローマ市の中心街にある日伊興産イタリア会社(株)に入社したことは、一九八四年五月のことでした。

しかし、日本料理をイタリア人にアピールするという職業人になりきり売上げを伸ばす為にはマネージメントを学んだ自分をケツパレ根性で頑張っで見せると思いました。昨年十二月にオープンした日本企業では、初めての本格派「カフェ・そごう」の担当

ホン・ジョルノ(こんにちは)と生意気にも朝、職場に入る時に使った最初のイタリア語を自分の口から言えるようになってから八年の月日が経ちました。

最初はイタリア語の会話は全然分からず、無我夢中で職場のイタリア人そして私の配属された日本食レストランのウェーターとして毎日が苦しく、日本に帰りたいと思う日がありました。

当初になり約二十名の現地イタリア人従業員の責任者として配属されました。また、日本食レストラン二店舗のうち一店のマネージメントも兼任しながらの忙しい日々を覚悟しながら仕事に打ち込んでい



ます。このめまぐるしい時期でも心の支えになっているのは、

蓬田村で少年期に送った私にじよっぱり精神を生えつけてくれた風土が自分の助けになっていると思います。

カフェがオープンと同時に待望の息子が産まれ家族三人になり、また、一度ふるさとの蓬田に帰りたいと思っています。

末筆ながら蓬田村の益々のご発展と村民の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

戸籍の窓



人口と世帯数 (7月31日現在)

総人口 4,135人
男 1,988人
女 2,147人
世帯数 1,050世帯

7月受付分

お誕生おめでとございます

高田のぞみ (健悦) 長女
 (めぐみ)
柿崎 (健一) 長男
 (春代)
田中美佐子 (守美) 二女
 (広美)

おくやみ申し上げます

藤本清太郎 長科 87歳
久慈みよ 広瀬 67歳
大宮ヒテ 郷沢 84歳
坂本豊道 中沢 77歳

めも

▶現在所/VIA DELLA VITE 102 ROMA ☎06 (8101) 463▶生年月日/昭和38年5月1日▶出身/阿弥陀川/森一也氏二男▶好きなもの/旅行・食べ歩き▶経歴/青森県立今別高等学校卒(昭和57年)国際専門学校卒(昭和59年)日伊興産イタリア会社入社(昭和59年)櫛そごう&アサヒインターナショナル入社(昭和63年)現在に至る